
恋の方程式

L

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

恋の方程式

【著者名】

NO83D

L

【あらすじ】

先生に恋をしてしまつ恋物語。十六歳の女の子の切なくて愛がい
っぱいこもった気持ちに感動できる作品

始めに　ひふから（前書き）

「んにちは・・・」ひふと言います！先生と生徒の切ない恋物語を書いていきます・・・この小説を読んでなにか大切なことに気づいていただけたら嬉しいです！では頑張りますのでよろしくおねがいします・！・それではひふ初作品の『恋の方程式』です。

始めに　ひぶから

こんには・・！

LOVEと言います！

先生と生徒の切ない恋物語を書いていきます・・・この小説を読んでなにか大切なことにきついでいたら嬉しいです！では頑張りますのよろしくおねがいします・・・それではLOVE初作品の『恋の方程式』です。

#1 ハジマツ

「桜倉……おへり……おこ……起きるー。」

「…………。ンん。」

はあ……と大きくため息をついて黒板消しとチョークを持ったまま窓際の一番後の席まで速足で歩いて行く。

——ポカソナッ！——

「たあ…………ー。」

「桜倉奈緒さんーおせよハーピングこまーす！」

奈緒は少し慌てて机から顔をあげて眠そうに微笑む。

「…………お母さんー。」

クラスがどつと笑い声でうるさくなる。

「はあ……俺はお前を産んだつもりもないしそのまへに産めないー。早く起きてノート写せよ。」

「……あと一〇分。」

やつぱりとかくあげた顔をまた机に伏せてしまった。

「……じやあ授業のあと残れよ。補習だ。」

さめきつた態度で遠くを見つめながら言い、授業続けるゼーと叫びながら黒板に続きを書き始めた。

そんな姿をみても奈緒はぐっすりと熟睡している。

「いーよね、桜倉さん。いつも伊藤先生一人じめできてさッ！」

「あたしも思うー！たいして美人じゃないせにー！」

「わかんないの？桜倉は可愛いよ。すかなくともお前らよりは」

クラスの女子の話。桜倉への妬みに急に入ってきたのは学園でも噂の美少年五十嵐悟「イガシサト」

数学の時間に本を堂々と読む五十嵐には加藤は桜倉と同じくらいにかけていた。

五十嵐はよだれが垂れた奈緒の顔を見てクスクス笑う。

そんな五十嵐を見てクラスの女子も黙っている。

そしてそんな五十嵐を見ている加藤はどうしていいかわからずはあ…とため息をつきながら授業の続きを始めた。

始まっていた…

涙で一杯の恋物語は…

キーンパークカンパニー

「ばいばーい！」

はははは
れかうそで

「うち金欠なんだよねー！」

一世一代へ！彼女からた！」

廊下は帰りの生徒の声で賑わっている。

そして教室はと言ひと…

「……グスン。早苗ちゃんと食い倒れツアーガ。なんで先生と疲れ倒れツアーカツコ勉強へんカツコ閉じるになるのぉ！」

「おまえが寝るからいけないんだろ？早苗ちゃんと食い倒れツアーは明日行じや。な？ほらー やつぞ！」

「はーはー牛せーん！43ページを開いてくださいーー！」

「……いいもーん！できないもーん！」

おもてなしの心

ずっとその繰り返しだ。

戦い続けて10分…

「先生…ここは？」

奈緒は机に向かって数式を解いている。

どうやら戦いに負けたらしい。

「ん?」
「は…」

加藤は誇らしげに奈緒に教える。

「わかつたあ！先生わかつたよつ…！」

「…………。そうだな…あつてるぞ…出来るじゃないか桜倉…」

「う」褒美ちょーだい！

「は……」

加藤は予想が着かなかつた。普通いつもが御礼に貰つと思つてたから…

「え……や……やつだな……」

「やつたあー、じやあれ、んーと……。」

奈緒が思い付いた顔をした。

「名前！」

またまた加藤は意味のわからなさに言葉がつまる。

先生の下の名前！」

「あ… そんなんでいいの？」

「うん！教えて！！」

可愛い顔をして加藤に椅子を近づける。

一
諒

- ۲۷۶ -

うん？

すこしおかげながら小さく頷く。そしてだれよりも大きな声で言う。

「へえ～！～！～一ちゃーたつ！フフ」

「なんで知りたいの…？」

恐る恐る聞いてみる加藤。

「わーかんないつ！」

急に立ち上がり窓を開ける奈緒。

「わー！きれいーーー！」

奈緒の大きな黒い瞳には綺麗な、燃えるような、綺麗な夕日を映し出している。

そんな加藤は今までにない奈緒の真っすぐな性格にきずく。下を向いてわらい奈緒の居る窓に近づいて来た。

「ホント…きれいだなー。」

この“きれいだな”はどんな意味だったのかは本人も奈緒も今はきずかなかつた。

一人の顔は赤やピンクに綺麗に染まっていた。

いつまでも…

ずっと…

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0083d/>

恋の方程式

2011年10月4日14時32分発行